

インマヌエル中目黒キリスト教会

2015年6月7日聖日礼拝

使徒の働き連講52

「救いは万民に開かれた」

使徒の働き 17章 26節-34節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 17章 26節 - 34節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp242 ~ / 第三版の聖書はp264 ~

- 26 神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とをお定めになりました。
- 27 これは、神を求めさせるためであって、もし探し求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。確かに、神は、私たちひとりひとりから遠く離れてはおられません。
- 28 私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。あなたがたのある詩人たちも、『私たちもまたその子孫である』と言ったとおりです。

- 29 そのように私たちは神の子孫ですから、神を、人間の技術や工夫で造った金や銀や石などの像と同じものと考えてはいけません。
- 30 神は、そのような無知の時代を見過ごしておられました。今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。
- 31 なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの確証をすべての人にお与えになったのです。」

- 32 死者の復活のことを聞くと、ある者たちはあざ笑い、ほかの者たちは、「このことについては、またいつか聞くことにしよう」と言った。
- 33 こうして、パウロは彼らの中から出て行った。
- 34 しかし、彼につき従って信仰に入った人たちもいた。それは、アレオパゴスの裁判官デオヌシオ、ダマリスという女、その他の人々であった。

説教

使徒の働き連講52

「救いは万民に開かれた」

使徒の働き17章26節-34節

竿代照夫師



主テキスト

「神は、そのような無知の時代を見過ごしておられました。今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。」

(使徒 17:30)

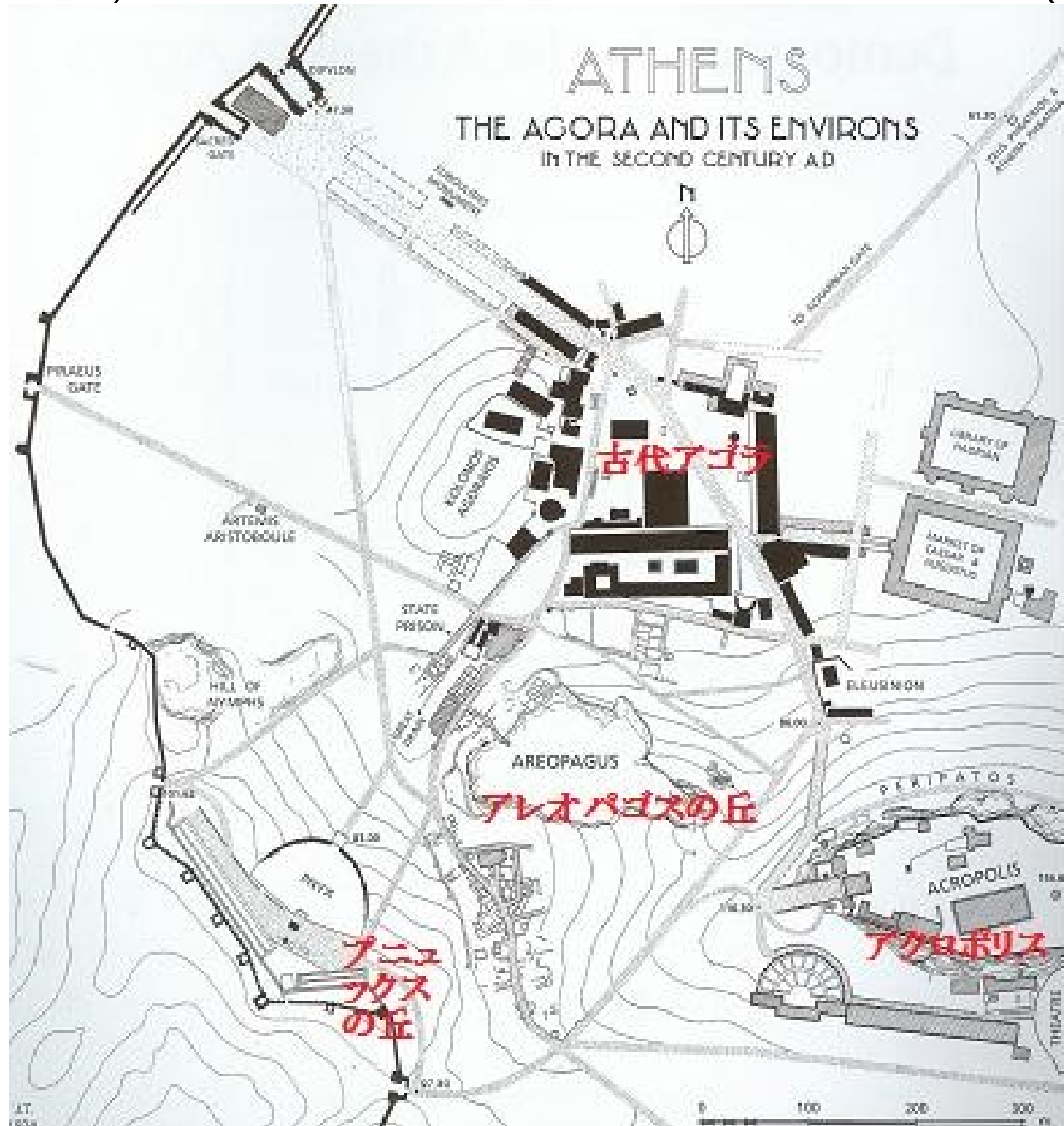
はじめに: 前回の復習

(地図 ギリシャ 参照)

・アテネへの到着: ピリピー→テサロニケ→アテネ



・アゴラ(市場)での論争: 偶像の町アテネを攻撃(地図)



・アレオパゴス(評議所)での講演(写真参照)
アクロポリスから見たアレオパゴス



A . パウロの講演

1 . 創造神を提示 (2 2 — 2 9 節)

汎神論なギリシャ人に創造神を提示

場所や建物を超越

人間に支えられない

神は万民の神

神を見出すことは可能

神は身近な存在 : 「私たちは、神の中に
生き、動き、また存在している」

2. 新しい時代の始まり(30節)

- ・無知の時代が終わった:
(使徒14:16、ローマ3:25)
- ・新しい時代が「今」始まった:神のお扱いが変わった
- ・悔い改め(方向転換)が勧められる
- ・万民への福音:良きおとずれがすべての人に(ローマ10:18)

3. 裁き主としての主イエス(31節)

- ・終わりの日が来る:終末はある
- ・終わりの日は正義に基づく審判によって締め括られる
- ・復活したイエスは裁き主(1テサロニケ1:10、ヨハネ5:27)

B . 聴衆の反応 (3 2 - 3 4 節)

1 . 復活を嘲笑した人々

2 . 態度保留の人々

3 . 信じた人々

・ デオヌシオ : アレオパゴスの裁判官 (後の
アテネ教会監督)

・ ダマリス など : アテネ教会が生まれる

終わりに

神の大きな恵みを信じ、その懐に飛び込もう